

保安専門技術者養成講習計画（シラバス）

【講習科目】	L P ガス災害対策
【担当講師】 8 名 + 1 名（事務局）	（参照：保安専門技術者養成講習講師一覧）
【開講時期】	1 月から 2 月
【時限】 5 時間（300 分）以上	①事前学習及び事前学習ワークブックの作成・提出 ②オンライン講義 [5 時間(300 分)] ③修了ワークブック（指導方法）等の作成・提出 【合計 5 時間（300 分）以上】
【講習の目的】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保安リーダーに足りる十分な知識を有し、地域指導事業等の講師としての指導力を養成する。 ・自然災害の脅威を認識し、平常時の対策の実践と、被災後の対策を指導・主導し得るものを養成する。 	
【講習のポイント】	
東日本大震災を受けて作成した「L P ガス災害対策マニュアル」を最近の災害状況を踏まえ改訂した最新版の「第 3 次改訂版」をテキストに用いつつ、災害時における防災行動計画（タイムライン）についても学習を行い、実際に訓練を行うことで、災害時における予見可能性を向上させ、実際の行動に結びつけるようなことができるような保安専門技術者を養成する。	
【カリキュラム】	
別紙（カリキュラム）参照	
【事前学習の学習内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ・L P ガス災害対策マニュアルの学習。 ・指示した災害情報に対する防災行動計画（タイムライン）の検討。 	
【オンライン講義の内容】 [5 時間（300 分）]	
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト、動画、パワーポイント、ハザードマップ等を用い、過去の災害や現在の災害の傾向、L P ガス設備の災害対策等について解説、質疑応答を行う。 ・災害時を想定した防災行動計画（タイムライン）訓練を行い、課題、対応等のフリーディスカッションを行う。 	
【修了レポート等の作成・提出】 [0.5 時間（30 分）]	
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講義終了後、修了ワークブック（指導方法）、アンケートを提出。 	
【履修目標】	
<ol style="list-style-type: none"> ① 近年の自然災害及びL P ガスにおける災害対策に関して知見を有していること。 ② 地域の保安リーダーとして、事業者及び地域におけるL P ガス災害対策を促進するために、自地域における防災行動計画（タイムライン）を立案でき、被災前、被災後の自身の行動を想定できる能力を有すること。 	
【到達目標】	
<ol style="list-style-type: none"> ①について <ul style="list-style-type: none"> ・近年の自然災害の特徴や地域の災害リスクを把握し、最新のL P ガス災害対策や自身の立場に応じた平時及び被災時の役割について理解すること。 ②について <ul style="list-style-type: none"> ・防災行動計画（タイムライン）立案でき、それに基づき現場のリーダーとしての役割を果たすことができること。 	

【実施方法】			
<p>【実施 1】 保安専門技術者養成講習（オンライン講義）の講義及び説明評価</p> <p>オンライン講義では、近年の災害の特徴や最新のLPガス災害対策について習得し、LPガス災害対策に関する知見の強化を図る。また、タイムライン訓練を通じて、自身の考えを論理的に他者へ説明できるか確認し、講師及び周りの受講生からの評価を受けることで指導者としての説明能力の向上を図る。</p> <p>【実施 2】 保安専門技術者養成講習（オンライン講義後）の修了ワークブック（指導方法）</p> <p>修了ワークブック（指導方法）では、オンライン講義で得た知見を活かし、指定した災害における防災行動計画（タイムライン）の立案を行い、被災前、被災後の自身の行動を想定ができていないか確認・評価する。</p>			
【評価の基準】			
<p>本事業では、受講生の a) 知見 b) 説明力の 2 点について評価する。具体的には以下の点について、次表により評価する。</p> <p>a) 知見</p> <p>イ) 過去の災害の傾向を理解し、災害による LP ガス設備等の被害について説明出来る知見を有する。</p> <p>ロ) 災害に応じた適切な対応を立案できる知見を有する。</p> <p>ハ) 参考資料や見聞した情報について独自に収集できている。</p> <p>b) 説明力</p> <p>イ) 自らの考えを論理的に他者へ説明できる。</p> <p>ロ) 他者からの質問に対し適切に受け答えできる。</p> <p>ハ) 説明内容に誤認はないか。また誤認があった場合、それを適切に訂正し説明できる。</p>			
	判定	知見	説明力
	A	大変よく理解されている。	大変適切かつ柔軟に説明ができていない。
	B	よく理解されている。	適切かつ柔軟に説明ができていない。
	C	理解されている。	適切に説明ができていない。
	D	部分的に理解されている。	部分的に説明ができていない。
	E	理解されていない。	説明できていない。
	合格基準	カリキュラムに記載の学習到達事項について、全て「C」以上であること。	
【授業の方法】 オンライン講義			
<p>オンライン講義【TV会議システム等を用いたオンラインによる授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数を対象とする意見発表、討議等を交えた講習 ・意見発表等により、保安担当者との情報共有等によって、保安リーダーとしての意識向上、自社における水平展開等を図る。 			
【テキスト】			
番号	名 称 等	編集・発行	備 考
1	LPガス災害対策マニュアル（第3次改訂版） https://www.lpgpro.go.jp/guest/text1/pdf/R02_2020/2020_7-s.pdf	高圧ガス保安協会	※
2	LPガス事業者における災害時におけるタイムライン訓練 参考資料	高圧ガス保安協会	※

※	Webサイトに掲載された電子データを閲覧。必要に応じて、受講者が適宜ダウンロードし、プリントアウト。
【履修条件】	
1) 地域の保安リーダーに足りる十分な経験、知見等を有していること。 2) 都道府県LPガス協会又はLPガス関係団体の推薦を受けること。 3) 講習修了者は、所属する都道府県LPガス協会より地域保安指導事業等における講習講義依頼があった場合には、講師をすること。	
【講習の修了条件等】	
1) オンライン講義でのワークブックを提出し、一定以上の評価を受けた場合に限り、本講習を修了したものとし、保安専門技術者証を交付する。	
【受講者への注意事項等】	
1) オンライン講義を受講するにあたっては、インターネット環境に接続できるパソコン、当該パソコンに接続できるマイク、カメラを用意すること。 2) 本講習の詳細は、受講申込後に配付される受講案内に記載する。	
【参照ホームページ】	
LPガス保安技術者向けWebサイト (https://www.lpgpro.go.jp/)	

保安専門技術者養成講習（LPガス災害対策）事前学習カリキュラム

※受講者は、オンライン講義を受講するにあたり、事前にLPガス災害対策マニュアル等を参考に検討し、ワークブックを完成させる。

	学習項目	事前学習内容	教材	学習到達事項
事前学習	LPガス災害対策マニュアルについて	災害対策マニュアルの自習学習	マニュアル	LPガス災害対策マニュアルを事前に学習し、内容について理解する。
	事前防災行動計画（タイムライン）について	指示した災害情報に対する防災行動計画（タイムライン）の検討	参考資料	指示した災害情報に対する防災行動計画（タイムライン）の検討を行うことで、災害時における予見可能性を向上させ、実際の行動に結びつけることができるようになる。

保安専門技術者養成講習（LPガス災害対策）オンライン講義カリキュラム

学習項目	学習内容	教材	学習到達事項	時間
事前防災計画（タイムライン）	進行型災害への対策 （平常時対策と被災前対応について）	事前ワーク	事前に災害や被害の規模等が想定される進行型災害に対する事前防災計画（タイムライン）についてフリーディスカッションを行い、理解する。 （必要に応じて、タイムラインを行う上で必要となる知識の講義を交えつつ実施。）	120
休憩 12:00～13:00				
事前防災計画（タイムライン）	進行型災害への対策 （被災時の行動と被災後の点検、復旧等について）	事前ワーク	事前に災害や被害の規模等が想定される進行型災害に対する事前防災計画（タイムライン）についてフリーディスカッションを行い、理解する。 （必要に応じて、タイムラインを行う上で必要となる知識の講義を交えつつ実施。）	120
その他	タイムライン訓練他、自社の災害対策やその他事項など		フリーディスカッション（タイムライン訓練他、自社の災害対策への取り組みなどその他事項など）	60
修了レポート	ワークブックの作成		講義で得た知識を踏まえ、ワークブックの作成を行い、災害時における予見可能性を向上させ、実際の行動に結びつけることができるようになる。	

令和 3 (2021) 年度 保安専門技術者養成講習実施計画 (オンライン講義)

回	日程	講習の 種類	備 考 【オンライン講義へのアクセスURL】
1	令和 4 年 1 月 18 日	L P ガス 災害対策	https://koatsugasuhoankyokai-fup.my.webex.com/koatsugasuhoankyokai-fup.my/j.php?MTID=mf931a94ab661b74218fa9c6f3fb55c3e
2	令和 4 年 2 月 2 日	L P ガス 災害対策	https://koatsugasuhoankyokai-fup.my.webex.com/koatsugasuhoankyokai-fup.my/j.php?MTID=m191468ba127f0558deb3a4e555e05849
3	令和 4 年 2 月 14 日	L P ガス 災害対策	https://koatsugasuhoankyokai-fup.my.webex.com/koatsugasuhoankyokai-fup.my/j.php?MTID=m5fc17effa2174cf1d19a7953b7d10e87

令和3(2021)年度

保安専門技術者養成講習の受講上の留意点

1. 保安専門技術者養成講習の主な流れ（フロー図参照）
 - ①事前学習及び事前学習レポート（excelの1種類）の提出
テキスト等により自習を行い、事前学習レポート（ワークブック）をオンライン講義開催日前までに提出。
 - ②オンライン講義及び修了レポート（excelの1種類）の提出
事前学習レポートに基づく発表説明等を含むオンライン講義終了後、修了レポート（ワークブック）を提出。
 - ③保安専門技術者証の交付等
事前学習レポート（ワークブック）、オンライン講義での発表説明、修了レポート（ワークブック）について、所定の評価以上をもって、保安専門技術者証を交付する。
2. オンライン講義への参加方法
 - ①自身が受講する講義日時に指定のサイトにアクセスしてください。
[後日、事務局より送付される「受講案内」に記載したURL (<https://khk.webex.com/>・・・)をクリック。]
 - ②リモート講義開始時間の10分前から出欠確認等を行いますので、講習開始時間までにアクセスしてください。
3. オンライン講義に係る事前準備等
このオンライン講義では、テレビ会議システム「Webex Meetings」を使用しますので、あらかじめ、各自において以下の準備が必要です。
 - ①パソコンによるテレビ会議ができるマイク、カメラ。
 - ②オンライン講義へのアクセス方法については、各県協会及び受講申込書【様式2】に記載していただきましたメールアドレス宛にその詳細を案内します。
 - ③「Webex Meetings」のアプリケーションソフトをインストールしなくても対応可能です。
4. 教材等
 - ①本講習では、印刷物等による教材の配付はありません。
 - ②事前学習、オンライン講義等に必要の教材は、LPガス保安技術者向けWebサイト「講習事業等業務連絡 (<https://www.lpgpro.go.jp/guest/information/index.html>)」の「事前学習用教材等」へアクセスし、適宜ダウンロード、プリントアウト等をしてください。
5. 留意事項
 - ①事前学習レポート（ワークブック）の提出がない場合は、オンライン講義を受講することができません。
 - ②オンライン講義では、事前学習を行ったことを前提にした講義が行われます。また、講義では、事前学習レポート（ワークブック）に基づく発表説明等をしていただきます。
 - ③事前学習において質問があった場合は、任意の様式（但し、A4サイズ、Word文書）に氏名、受講するオンライン講義の日時、テーマ名を明記の上、事前に提出してください。（任意）
 - ④オンライン講義終了後に、修了レポート（ワークブック）、アンケートの提出がない場合は、保安専門技術者証を交付いたしません。

以上

※詳しい内容は、オンライン講義毎の「受講案内書」にてお知らせします。

令和3(2021)年度 保安専門技術者養成講習等の流れ

